

対談 市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 玉城町		<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少時代におけるまちづくり対策をどう講じていくのかを今から考えていけないといけないと思っています。 ・安心して子どもを産み育てられるまち、年をとっても安心して暮らせるまち、この施策をもっともっと力をいれていきたいと思っているのと、このテーマである「若者の活躍の場づくり」です。 ・玉城町は、県内でもトップクラスの農業先進地でありますし、教育のまちであります。過去を振り返れば、30代・40代の若い人たちがこのまちを作りあげてきました。 ・今、若い人たちの「交流の場」が少ないという状況になっています。 ・出会いの機会を作っていく必要があるのかなとも思いますが、婚活の前に、若い人同士が地域の中で活躍する場があって、地域に貢献していけるのではないかと思います。 ・戦略企画部や三重大のバックアップをいただいて、少しずつ取組が進められてきているので、もう少し力を入れていきたいと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働いて子供を育てる場所として、若い世代に選んでもらえる地域となることが大切だと思っています。 ・「交流の場」については、私が委員をやっている政府の報告書の中にも、青年団のような交流する場を支援していることが必要だと書かせていただいたところであります。 ・婚活の支援についても行政がやらなければいけないのかとの意見がありますが、今47都道府県のうち29道府県が婚活支援を実施しています。 ・県においても若者が交流したり、活躍したりする場を積極的に作っていきたくと思っていますし、県独自で作らなくても、独自で頑張っている事例を紹介することで、気づく機会を作ることをやらしていただいています。 ・「新しい公共のヒント集」を3月末にまとめました。その中で「若い世代が活躍する場をつくる」という項目をつくりました。県内の4事例（四日市、鈴鹿市、明和町、南伊勢町）を紹介していますので、ご活用いただければいいのかなと思っています。

対談 市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
玉城町	対談項目1 若者の活躍の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・三重大大学の西村先生が、近隣の市町で人づくりのバックアップをされているが、近く、玉城町にも来ていただくことになった。 ・結局は「人」、人材育成が大事なので、町の将来を支える若い人たちを育てていくことに、町の行政でも力を入れていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が地域で企業の取組を取材して、若い人の目線で情報発信していくという取組もやらしていただいています。 ・ボランティアとして若い大学生にきてもらおうではないかということで、2月に県営サンアリーナ（伊勢市）で開催した、第7回子育て応援わくわくフェスタに、高校生・大学生のボランティアを募集し、318人の参加がありました。県のイベントの運営のお手伝いをしてもらいました。 ・玉城町で8月31日開催の「第3回玉城勝田ぶどう祭り」に向けて、三重大学とか皇学館大学とか三重短期大学の学生や運営スタッフを募集させていただきました。 ・三重県では、献血率が全国で下から2番目なんで、学生の子たちが献血サークルの連合協議会のようなものを作ってくれましたので、それを応援しています。 ・県としては、活躍する場をつくることもやりますし、活躍している様子を情報発信することにも力を入れているところです。 ・西村先生がやられている、いわゆる西村ゼミは、紀北町や南伊勢町等で、若い職員や町の中心になっていくような人たちをやる気にさせていると聞いている。 ・県でも、若手・中堅養成塾をやっており、若手職員の交流があっても良いかもしれない。

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
2	対談項目2 住民の居住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・玉城町の下水普及率は、本年9月で68%まで到達するところとなりました。 ・あと少しのところまでできましたが、国の予算にシーリングがかかり、なかなか満額の予算配分がされていない状況です。 ・平成27年度の計画が達成できるように要望していかなければならないと思っており、県にバックアップいただかないといけないなと思っております。 ・農地・水の取組が三重県でトップで、良い自然環境を残していくために、一刻も早く町全域に下水道を整備したいと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道を整備する時は、通常、国の「社会資本整備総合交付金」を使いますが、要望している額に対して満額がつきにくい状況にあります。 ・平成25年度は、これまでの「社会資本整備総合交付金」に加えて、老朽化対策、防災・減災対策を目的とした「防災安全交付金制度」が設立されました。こちらの内示は100%近いものですが、玉城町の場合は新設なのでこの「防災安全交付金」は使えないということです。 ・県としましては、国に対して玉城町とともにしっかり働きかけをして、計画どおりに進めるようにバックアップするとともに、情報提供をさせていただいてともに考えていくことができればいいかなと思っています。 ・農地・水・環境の取組は、地域の人たちが主体になって自分たちでできることをやっただけで、大好きな取組の一つなので、そういう人たちの思いが止まらないように、しっかりバックアップしていきたい。

対談 市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
3 玉城町	対談項目3 熊野古道世界遺産登録10周年に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9年前に三重県が登録を記念して作った「熊野古道賛歌」を来年はどんどん流してほしいと思います。 ・ 玉城町は伊勢路の起点、スタートのまちでございますし、宿場まちであります。なんとかしてこの機会に玉城町の魅力を発信していきたいと思っております。 ・ 伊勢詣をされた方は、玉城を通過して熊野詣をされました。その街道は今もまだあります。 ・ 来年は、熊野古道世界遺産登録10周年ですので、思い切って力を入れていきたいと思っています。関係市町とも協力していきたいと思っています。 ・ 玉城町としては、景観まちづくりにも力を入れていきたいと考えています。 ・ いろんなことを県に相談しアドバイスをいただきたいと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年の7月7日がまさに10周年となります。来年の7月から12月の半年間にかけて、熊野古道世界遺産登録10周年を祝うイベントをどこかで何かをやっているという企画を練っています。 ・ 玉城町の取組も一緒になって入ってもらえるようにと思います。 ・ 県でも南部地域活性化局を設けましたので、しっかりやっていきたいと思っていますし、来年度予算に向けては、世界遺産登録10周年のことも含めて、財源としての基金につきましても確保に努めていきたいと思っています。